

JAぎふディスクロージャー



(平成30年9月30日現在)

2018 半期!

平成30年度における半期情報(4月1日～9月30日)において、お知らせします。



組合員・地域の皆さま

貯金
・
出資金

ご融資

文化的・社会的
貢献活動



JAぎふ

I. 地域貢献に関する取り組み

JA ぎふは、岐阜市、羽島市、各務原市、山臈市、瑞穂市、本臈市、岐南町、笠松町及び北方町の6市3町を事業区域とし、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組合であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としています。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当JAは、経営の社会的責任（CSR）が求められる中、地域社会への貢献を経営理念の一環として掲げ、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて、各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

1. 地域からの資金調達状況

◆貯金◆

組合員の皆さまなどからお預かりした貯金の残高は、1兆76億円になりました。

◆出資金◆

協同組合である当JAは、組合員の皆さまからの出資金によって支えられており、出資金の残高は72億円になりました。

◆金融商品◆

組合員・地域の皆さまのニーズに合わせてご利用いただける各種商品を取り扱っています。

2. 地域への資金供給状況

◆ご融資および農業機械リース◆

組合員の皆さまなどからお預かりした貯金などの大切な資金は、組合員をはじめ地域住民の皆さまの暮らしや、農業者・事業者の皆さまの事業に必要な資金としてご融資、および農業機械リースを通じて地域経済の発展に寄与しています。

◆資格別貸出金残高

資格	残高
組合員	1,855億円
地方公共団体	65億円
金融機関	110億円
その他員外	68億円
計	2,098億円

◆資金用途別貸出金残高

資金用途	残高
設備資金	1,876億円
運転資金	222億円
計	2,098億円

◆農業関連資金

資金名	件数	残高	内容
アグリサポート資金	290件	1,191,398千円	農業経営の合理化に必要な資金
あぐりサムライ	75件	587,065千円	農業に関する様々な用途にご利用いただける資金

◆農業制度資金

資金名	件数	残高	内容
農業企業化資金	14件	54,746千円	農業経営改善に必要な資金
就農支援資金	22件	38,480千円	就農前の研修その他就農の準備、農業経営の開始に必要な資金

◆農業機械リース

件数	取扱金額
84件	462,260千円

◆預託家畜

軒数	頭数	残高
6軒	480頭	269,210千円

3.文化的・社会的貢献に関する事項

◆地域とのつながり等◆

- ★地産地消への取り組み
 - ・おんさいワゴンによる産直品販売
 - ・メディアを通じた地産地消 PR 活動（GOGO キューブマン）
 - ・JR 岐阜駅 アクティブ G にて「出張おんさい広場」を開催
 - ・「農業の応援団」の加入推進運動
- ★農地保全・農業振興への取り組み
 - ・農山村ふるさとづくりプロジェクト、体験農園開設
 - ・「えだまめ塾」「アスパラ塾」「ブロッコリー塾」「柿塾」「いちご塾」の開講
 - ・小学生農業体験学習への支援（田植え、稲刈り、等）
- ★スポーツ活動
 - ・みのっ太カップ少年サッカー大会
 - ・JAぎふリオレーナによるバレーボール教室（6回開催）
- ★環境保全への取り組み
 - ・役職員によるクールビズ運動の実施
 - ・廃棄農薬、農業用使用済プラスチックの回収
- ★地域交流
 - ・各支店にて夏祭り・地域農業祭・収穫祭の開催
 - ・女性部活動室の設置
- ★自己改革
 - ・協同活動について支店運営委員会全体研修会を実施
 - ・役職員が全組合員を対象に全戸訪問活動を実施し、自己改革を周知
- ★情報発信
 - ・JAぎふ公式 LINE@による会員限定クーポンの発行や情報発信
 - ・マスコミへの広報プレスリリースの実施



◆地域サービス◆

- ★店舗・ATM
管内に本店・支店・ATM102台(共同機械出張所を含む)を設置しています。
- ★資産管理セミナー
- ★住宅ローン相談
- ★税務・資産相談、法律相談
【各相談会開催数 合計 105回】
〈平成30年9月30日現在〉



◆地域の皆さまとのネットワークづくりへの取り組み◆

- ★JA ぎふ年金友の会会員数
49,540名
- ★JA ぎふ女性部部員数
4,315名



- ★JA ぎふ青年部部員数
111名



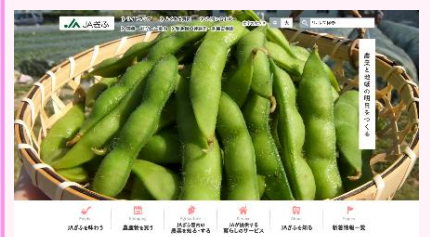
〈平成30年9月30日現在〉

◆情報提供活動◆

- ★広報誌「ふれあいねっと」を7月にリニューアル。毎月80,000部発行しています。



- ★ホームページの公開
<https://www.iagifu.or.jp/>



- ★ディスクロージャー誌の発行

Ⅱ. 財務状況や事業に関する開示事項



1. 単体自己資本比率（国内基準適用）

平成 30 年 9 月末(見込み)	平成 30 年 3 月末
20.80 %程度	21.05%

(注)

- ① 当 JA は、信用リスク・アセット額の算出にあたっては標準的手法、適格金融資産担保の摘要については信用リスク削減手法の簡便手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出にあたっては基礎的手法を採用しています。
- ② 当 JA が有するすべての自己資本とリスクを対比して、自己資本比率を計算しています。

2. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

種 類	平成 30 年 9 月末	平成 30 年 3 月末	平成 29 年 9 月末
貯 金	1,007,624	983,050	971,785
貸出金	209,842	206,825	205,771
預 金	767,247	743,802	738,633
有価証券	63,395	60,211	59,449
金銭の信託	9,000	9,000	9,000

3. 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位:百万円)

種 類	平成 30 年 9 月末			平成 30 年 3 月末		
	取得価額	時価	評価差額	取得価額	時価	評価差額
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	19,799	20,492	693	19,799	20,606	806
その他	41,901	43,595	1,694	38,552	40,411	1,859
合 計	61,700	64,087	2,387	58,351	61,017	2,665

【金銭の信託】

(単位:百万円)

種 類	平成 30 年 9 月末			平成 30 年 3 月末		
	取得価額	時価	評価差額	取得価額	時価	評価差額
運用目的	9,000	9,000	—	9,000	9,000	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	9,000	9,000	—	9,000	9,000	—

(注)

- ① 期末日における市場価格等に基づく時価としています。
- ② 取得価額は、取得原価又は償却原価によっています。
- ③ 満期保有目的有価証券については、取得価額が貸借対照表として計上されています。
- ④ その他の有価証券については、時価を貸借対照表価額としています。
- ⑤ 運用目的の金銭の信託については、時価を貸借対照表価額とし、評価差額については当期の損益に含めています。

Ⅲ. トピックス

積極的な自己改革への挑戦 農業所得増大の取り組みを実践



中期経営計画のメインテーマ「積極的な自己改革への挑戦」その基本目標の一つである「農業者の所得増大」に向けて、販売先との価格交渉を行っています。農産物の販路を拡大するため、JAぎふ産直店間やインショップ先との物流体制を構築しました。また、新たなインショップ先の開拓や販売を強化しています。

組合員全戸訪問の実施



組合員との積極的な対話を目的とする役職員による全戸訪問を3回実施します。7月～8月に第一回の訪問を行い、組合員の方から多くのご意見・ご要望をいただきました。11月に第二回目の訪問を行い、JAぎふの自己改革についてお伝えします。1月～3月にはJAぎふの自己改革について組合員のみなさまの評価を確認するため組合員アンケートを実施させていただきます。

合併10周年特別企画 みのっ太 de ポイント 御園座「舟木一夫 特別公演」



みのっ太 de ポイントご優待企画第一弾として7月に新装・御園座「舟木一夫 特別公演」を開催しました。「プラチナ」以上のステージを獲得された皆さまをご招待し、8日間で8,000名以上の方にご参加いただきました。数々の大ヒット曲と迫力あるお芝居を披露し、来場された皆さまを魅了しました。

動くJAバンク「つなぐ号」 運行開始



平成30年7月2日より、金融移動店舗「つなぐ号」の運行を開始しました。支店の統廃合により、最寄り支店が遠くなったお客様やお身体が不自由でなかなか支店へ行けない方にご利用いただいております。

現在、藍川営業所・岩営業所・旧葛原支店跡地・旧北山支店跡地・乾公民館駐車場にて営業しています。

農山村ふるさとづくり プロジェクト



今年度もJAぎふと地元企業が本巣市根尾にて耕作放棄地を甦らせる「農山村ふるさとづくりプロジェクト」を行いました。

根尾地区で7企業と協力し、農業体験を行っています。この活動を通して、地域・行政・企業・JAが一体となり地域の活性化を進めています。

